

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/10/10号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

米長期金利の上昇で利食い売り

NY原油先物相場は、1バレル=81.50ドルまで急落し、8月31日以来の安値を更新する展開になった。米長期金利が急ピッチな上昇を続ける中、実体経済や投資環境に対するネガティブな影響が警戒された。これまで強気ムード一色の地合だった反動もあり、直近高値95.03ドルから急落する展開になった。米長期金利がどこまで上昇するのか分からないとの不安心理が、株式相場に続いて原油市場でもファンドの持高調整を誘った。

10月4日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの合同閣僚監視委員会（JMCC）が開始された。OPECプラスの産油枠の変更が行われない一方、サウジアラビアとロシアが独自に行っている供給削減策は、現在の規模を11月と12月に続ける方針が示された。サウジアラビアは日量100万バレルの減産、ロシアは30万バレルの輸出削減を行うことになる。一方、ロシアのガソリンとディーゼル油の禁輸措置については、パイプライン経由のディーゼル油輸出に関しては、国内供給も義務付ける条件で輸出が認められた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月29日時点）は、原油が前週比222万バレル減、ガソリンが648万バレル増、石油精製品が127万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

改めて下値を固める展開に、中東情勢にも要注意

急伸地合から一転して急反落と荒れた展開になっているが、国際原油需給のひっ迫見通しに変化は生じていない。米長期金利の動向次第の不安定な地合が続くが、強気相場の反動で必要以上に値下がりが進んだ状態にあり、徐々に押し目買いを誘う展開になる見通し。

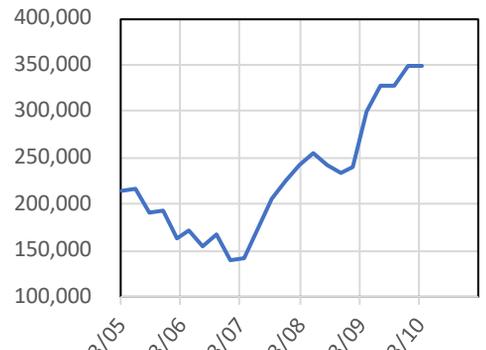
サウジアラビアとロシアの供給調整が年末まで続くことが決まる一方、米長期金利上昇で直ちに大規模な需要ショックが発生する訳ではない。在庫もタイトであり、底固さを再確認する見通し。需給要因に基づく買い圧力が維持される見通しに変化は生じない。

10月7日にはハマスがイスラエルに大規模な攻撃を行い、イスラエルが報復攻撃を行っている。中東の地政学リスクの高まりには注意が必要。石油供給に対する実害は殆どないため、原油相場に対する影響は一時的との評価が基本になる。ただし、前週の売られ過ぎ感を解消するきっかけにはなりやすい。特にサウジアラビアやイランなど主要産油国の対応によっては、一気に90ドル台回復を試す可能性もある。

一方、米長期金利の動向には注意が必要。12日の9月米消費者物価指数の消化状況が注目されるが、仮に米長期金利が5.0%を突破するような展開になると、ドル高やリスクオフ圧力の上値圧迫が続こう。

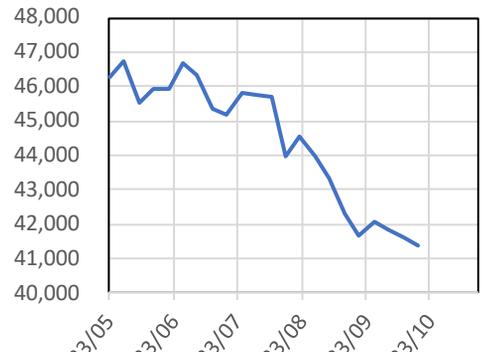
10月12日には国際エネルギー機関（IEA）と石油輸出国機構（OPEC）の月報が公表される。改めて需給ひっ迫見通しが示されると、買い安心感が強まろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



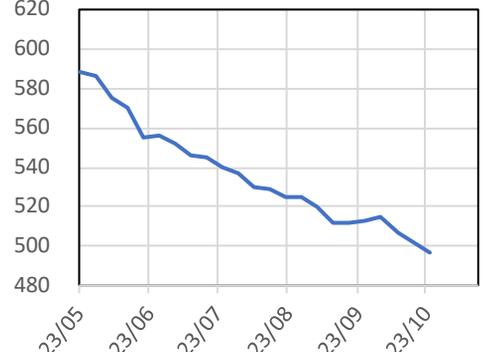
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

